

地域健康かるて 中宇治包括圏域

【人口】 25,375人 【高齢化率】 32.67% (市全体：30.03%) (令和5年4月1日時点)

市内で2番目に高齢化率が高いエリア

【小学校区】 菟道・菟道第二・大開

主なエリア

白川・宇治(乙方・金井戸・紅齋・小桜・里尻・山王・塔川・善法・東内・東山・又振・妙楽・山田・山本・漣華・下居・字文字・壱番・若森・樋ノ尻・玄斎・弍番・野神・矢落・戸ノ内・大谷・米阪・琵琶・池森・半白・折居)・榎島町六石山・折居台・琵琶台・神明(宮東・宮西)・広野町(丸山・小根尾・大開・八軒屋谷・尖山・中島)

菟道、菟道第二、大開の3つの小学校区で構成され、旧地区、丘陵地、市街地に分かれている。

JR宇治駅から宇治橋通商店街、京阪宇治駅周辺は観光地としてにぎわっている。



※国民健康保険、後期高齢者医療情報は令和4年9月時点であるため
1人当たり年間医療費、健診受診率等は公表値と異なります

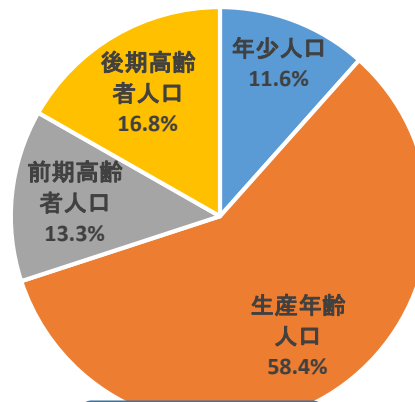
人口

	総人口	年少人口 (0~14歳)	生産年齢人口 (15~64歳)	高齢者人口 (65歳以上)	(再掲)	
					前期高齢者人口 (65~74歳)	後期高齢者人口 (75歳以上)
宇治市	181,616	21,051	106,031	54,534	24,095	30,439
中宇治包括圏域	25,375	2,816	14,268	8,291	3,517	4,774

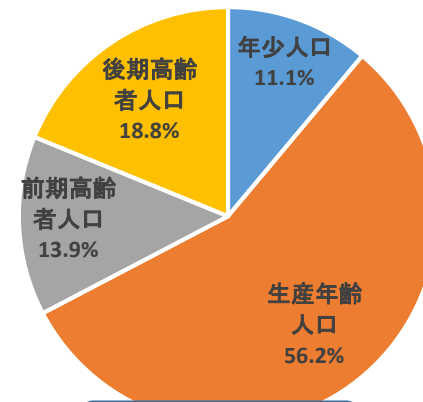
(人)

令和5年4月1日時点

人口割合



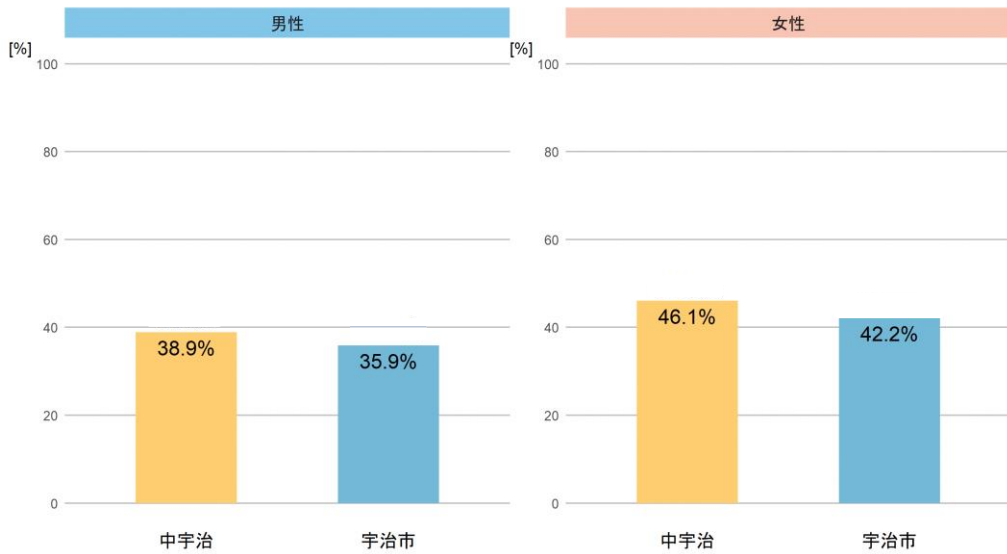
宇治市



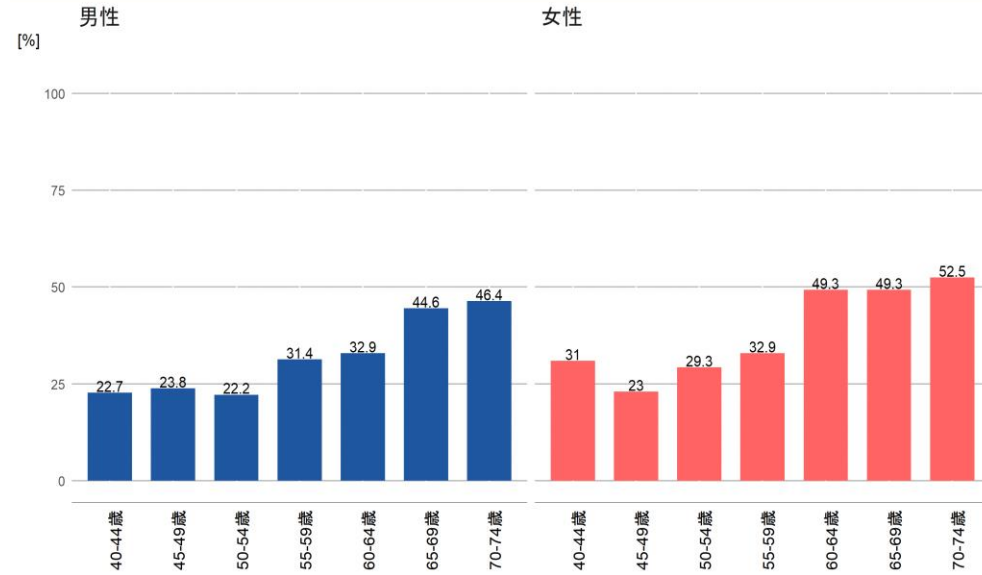
中宇治包括圏域

国民健康保険 特定健康診査 令和3年度

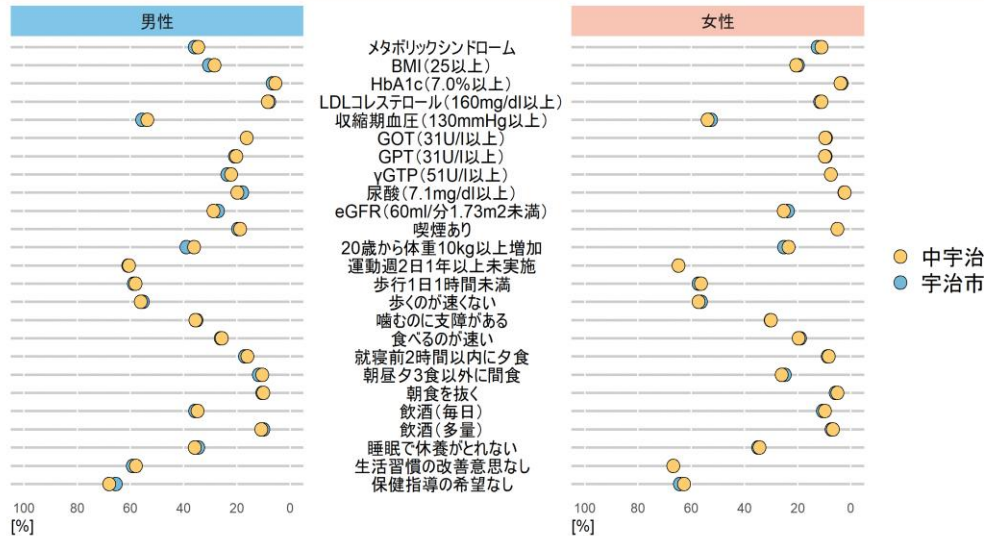
健診受診率



年齢別の健診受診率(中宇治)



健康と生活習慣病の状況



・特定健康診査受診状況は、男女ともに市の平均よりも高い。

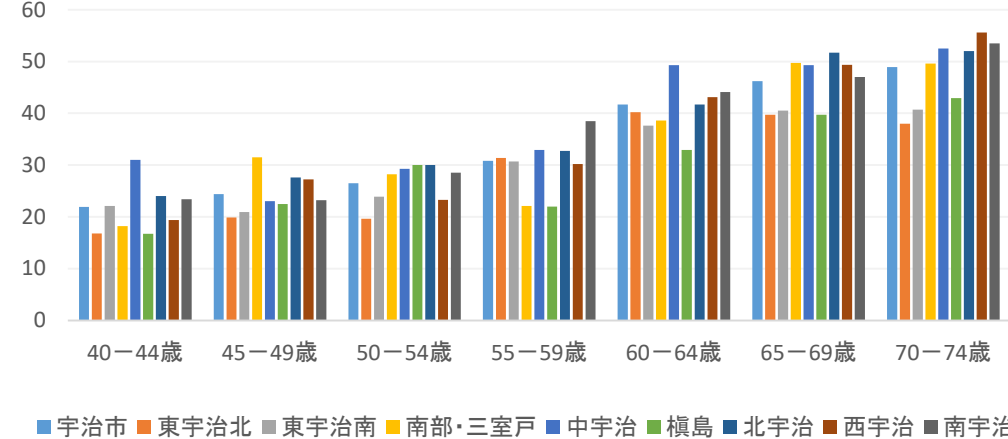
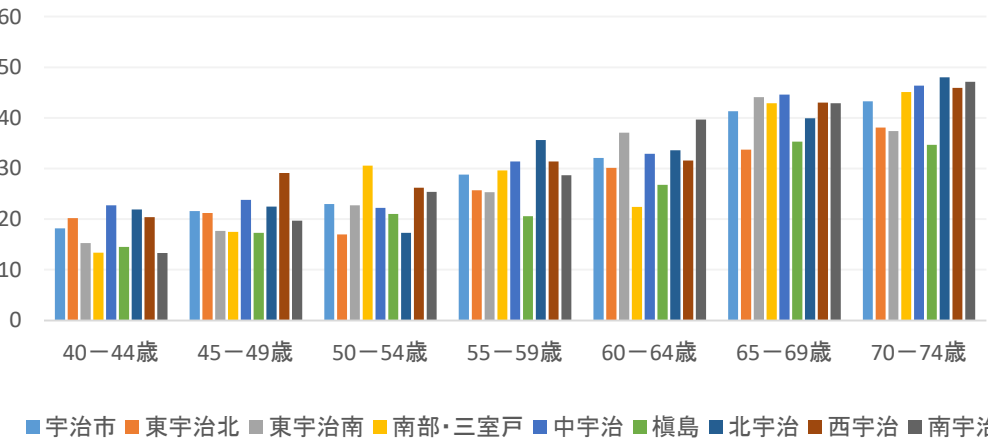
・特定健診結果では、男女とも『eGFR60ml/分1.73m²未満』の割合が高く、さらに男性では『尿酸7.1mg/dl以上』『睡眠で休養がとれない』『保健指導希望なし』の割合が、女性では『収縮期血圧130mmHg以上』『朝昼夕3食以外の間食あり』の割合が市の平均を上回っている。そのため、適正体重および食生活改善に向けた啓発と取り組み、健康管理への意識向上を図る必要がある。

* 健診の標準的な質問票を元に作成しています。

国民健康保険 特定健康診査 令和3年度

特定健診年齢別受診率(男性)
(他の圏域との比較)

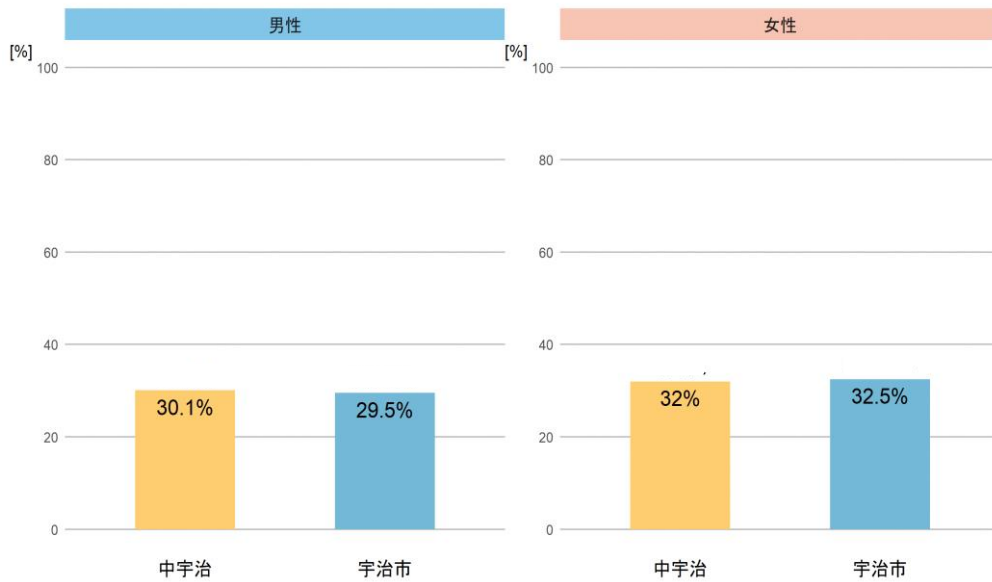
特定健診年齢別受診率(女性)
(他の圏域との比較)



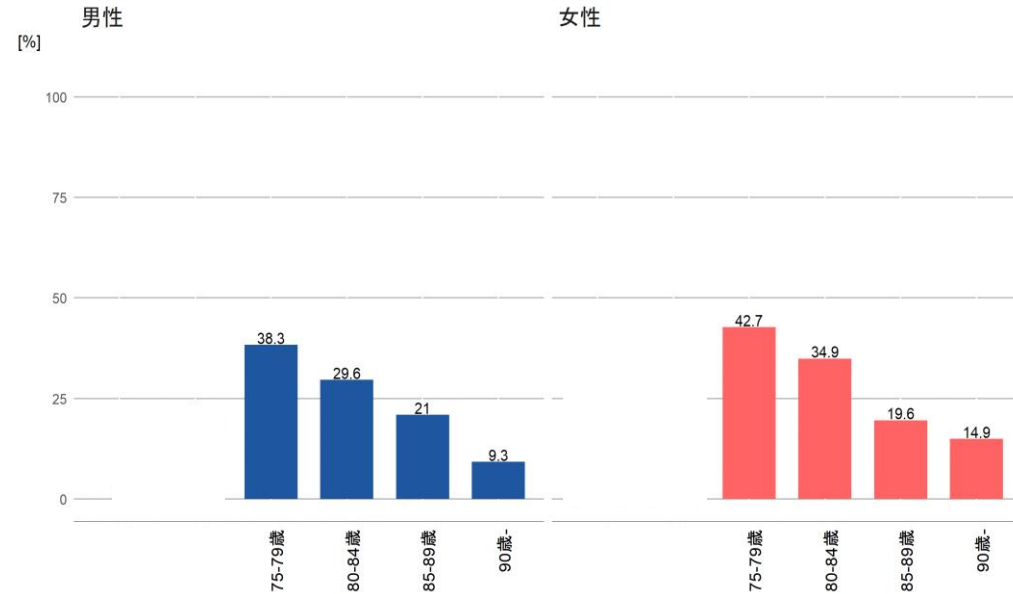
・特定健診受診率を市内他の圏域と比較すると、どの年代も男女ともに市の平均を上回る受診率となっている。

後期高齢者医療 健康診査 令和3年度

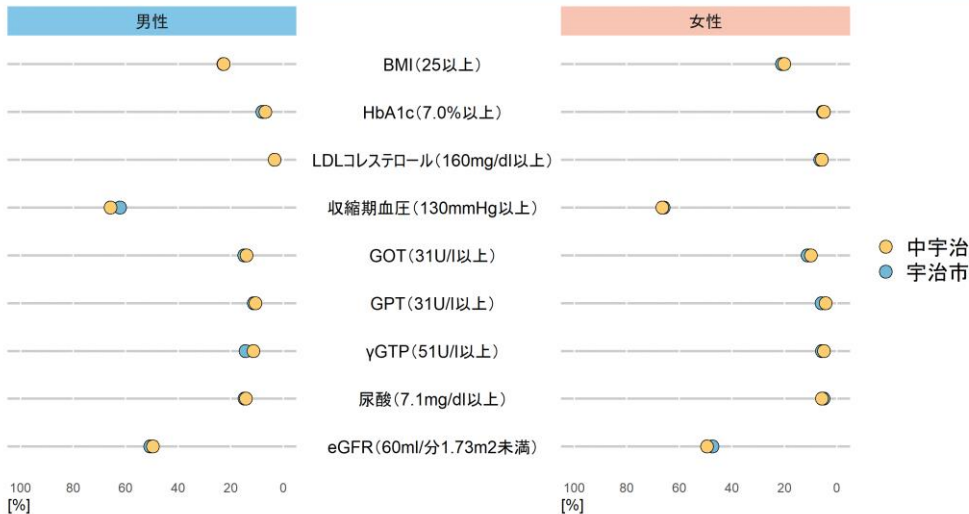
健診受診率



年齢別の健診受診率(中宇治)



健康と生活習慣病の状況



・後期高齢者医療制度健康診査の受診状況は、男女ともに平均的な受診率である。

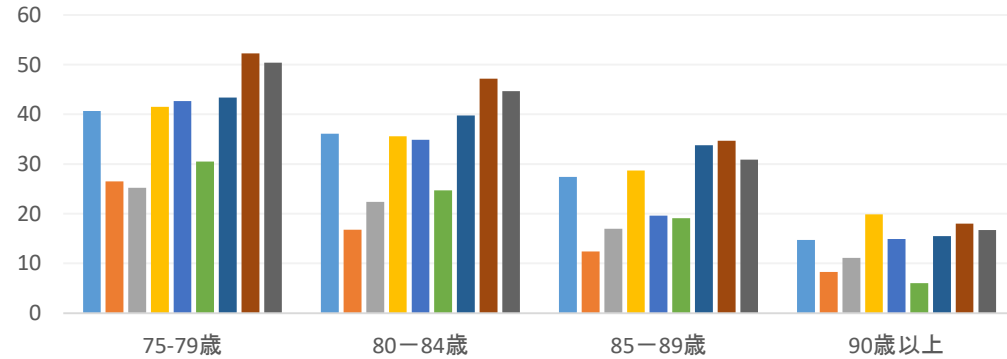
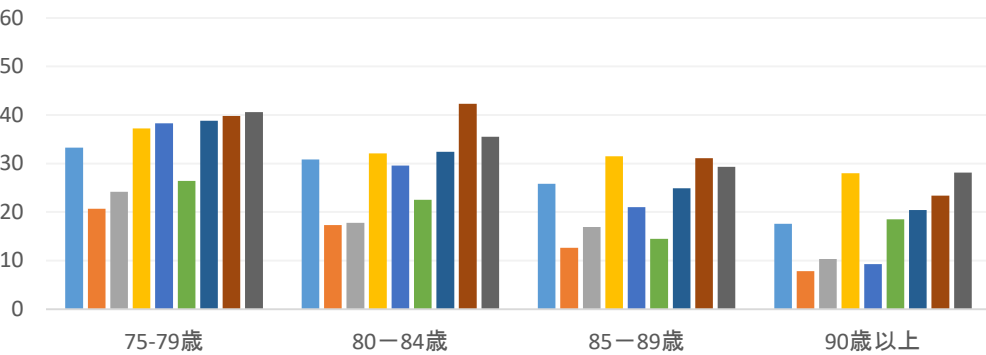
・健康診査結果は、男性では『収縮期血圧130mmHg以上』の割合が、女性では『eGFR60ml/分1.73m²未満』の割合が市の平均よりも高くなっている。

* 健診の標準的な質問票を元に作成しています。

後期高齢者医療 健康診査 令和3年度

健康診査年齢別受診率(男性) (他の圏域との比較)

健康診査年齢別受診率(女性) (他の圏域との比較)



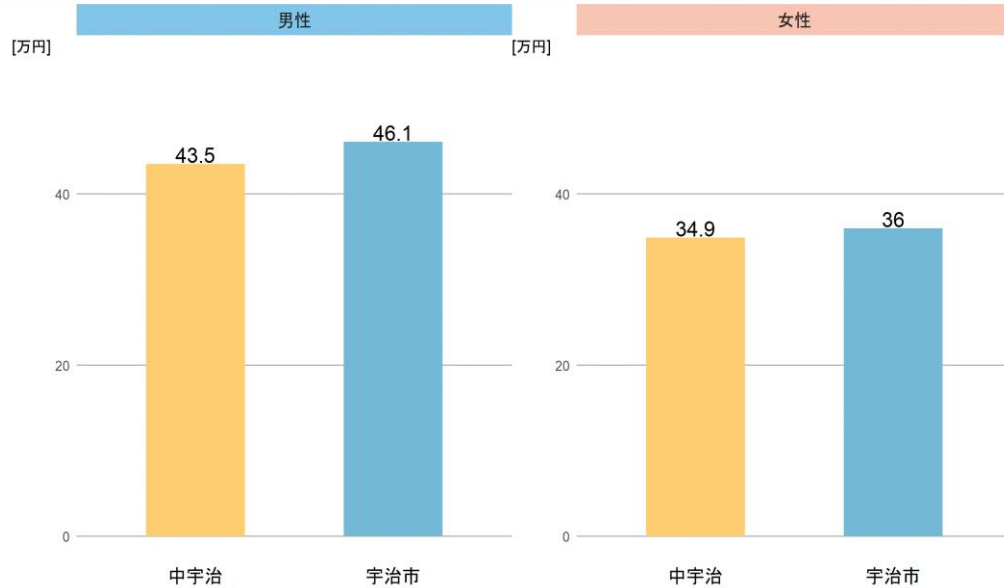
■ 宇治市 ■ 東宇治北 ■ 東宇治南 ■ 南部・三室戸 ■ 中宇治 ■ 槇島 ■ 北宇治 ■ 西宇治 ■ 南宇治

■ 宇治市 ■ 東宇治北 ■ 東宇治南 ■ 南部・三室戸 ■ 中宇治 ■ 槇島 ■ 北宇治 ■ 西宇治 ■ 南宇治

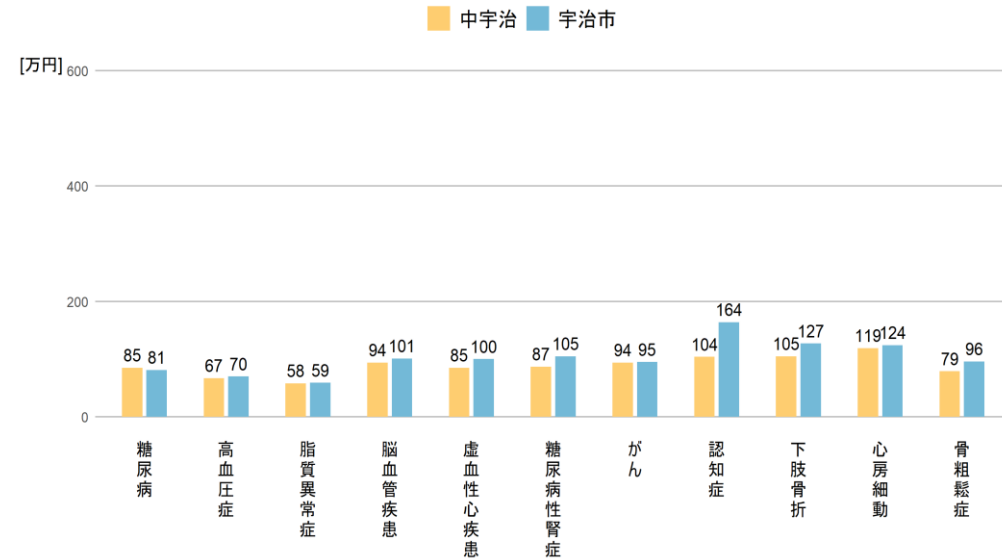
・健康診査年齢別受診率を市内他の圏域と比較すると、男女ともに85歳以上の受診率が低い状況である。

国民健康保険 医療費データ 令和3年度

1人当たり年間医療費

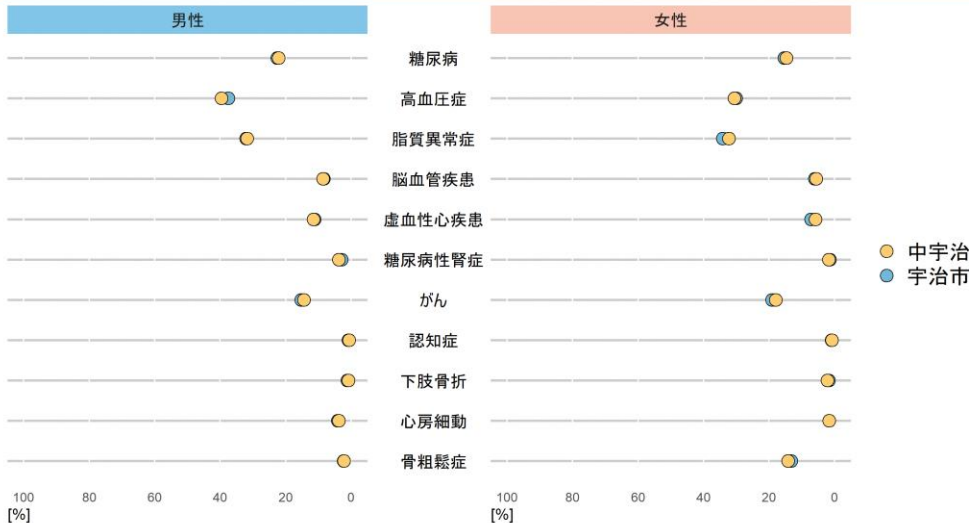


疾患別の1人当たり年間医療費



* 1人で複数の疾患を有していることがあります。

疾患別の有病率



・国民健康保険の加入者の1人当たり年間医療費は、市の平均よりも低い。

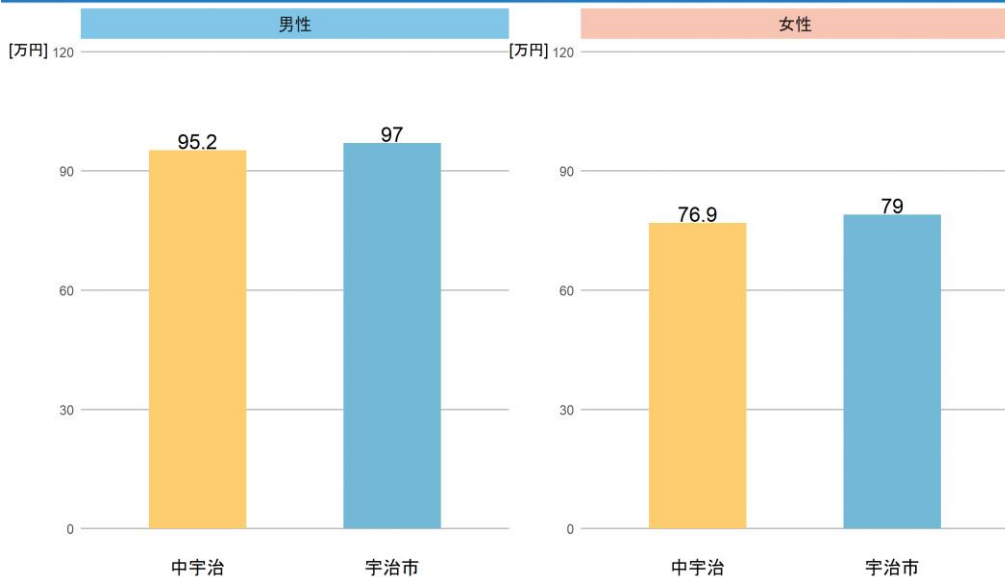
・疾患別の1人当たり年間医療費では、『糖尿病』において市の平均を上回っている。

・疾患別の有病率は、男性の『高血圧症』が市の平均を上回っている。

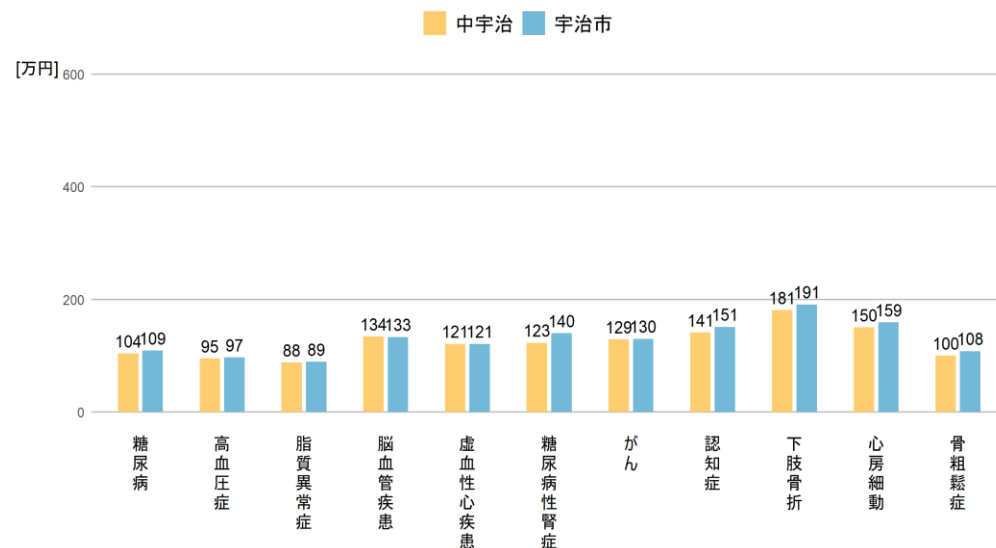
・治療中断率では男女ともに『心房細動』の割合が高く、さらに男性では『高血圧症』『脂質異常症』『骨粗しょう症』の中断率も高い状況である。医療の自己中断は、病気が重症化し合併症を引き起こすだけでなく、かえって医療費が高額になる傾向にあり、処方どおりに服薬することを含め、必要な医療受診に関する啓発が必要である。

後期高齢者医療 医療費データ 令和3年度

1人当たり年間医療費

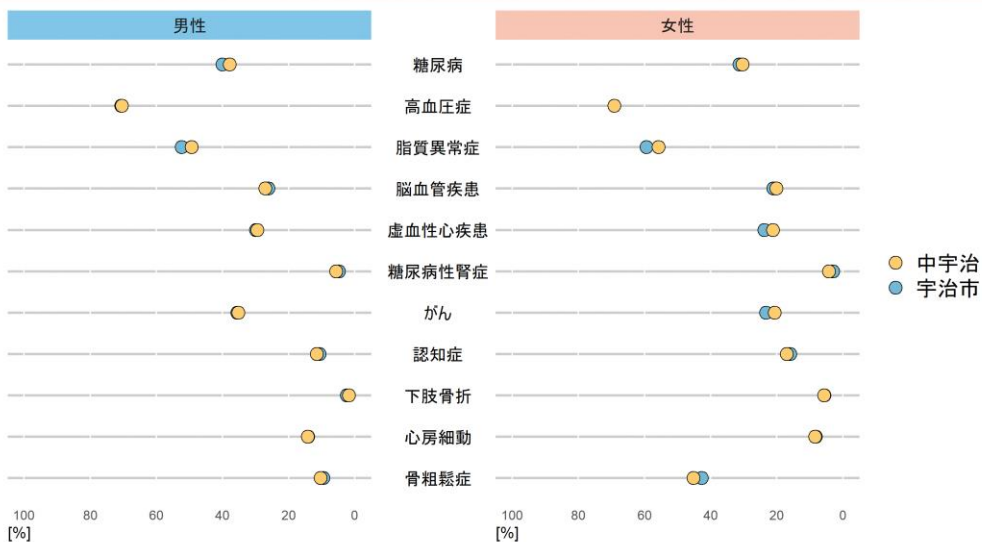


疾患別の1人当たり年間医療費



* 1人で複数の疾患を有していることがあります。

疾患別の有病率



- ・後期高齢者医療の1人当たり年間医療費は、男女ともに市の平均より低い状況である。
- ・疾患別1人当たり年間医療費では、『脳血管疾患』が市の平均をわずかに上回っている。
- ・疾患別の有病率は、女性の『糖尿病性腎症』『認知症』『骨粗しょう症』が市の平均を上回っている。
- ・治療中断率では女性の『骨粗しょう症』の割合が高い状況である。